

おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.2
(令和元年度～令和5年度)指標に対する取組み実績

資料1

「おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.2」の進捗管理はアクションプランVer.2で設定した指標を活用して行うこととしています。

●まちづくりの考え方1「やさしさ・やくそく」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方1の指標を以下のとおり設け、相互に理解し合うために必要な交流の場や参加・参画するための関係機関との連携、情報提供の手段を整えます。

項目	平成29年度 ※アクションプラン 策定年度	指標目標(令和5年度) ※アクションプラン掲載目標	実績					評価		所管課
			令和元年度実績 (参考)	令和2年度実績 (参考)	令和3年度実績 (参考)	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (R6.3.31時点)	指標目標達成	指標目標を達成しなかった場合、 理由と今後の対策	
1 「ユニバーサルデザイン」 の考え方を理解している 人の割合	18.60%	25.0%	16.9%	22.2%	22.0%	19.6%	18.8%	×	「ユニバーサルデザインの定義まで理解している」が18.8%、「ユニバーサルデザインの定義はなんとなく理解している」が40.6%だった。 今後は、引き続き、障がい者、関係団体等との連携による「地域におけるユニバーサルデザイン実践講座」や、区立小中学校の総合的な学習時間における「障がい理解学習」の支援などの各種取組を通じて、ユニバーサルデザインについての区民の理解が深まるよう取り組んでいく。	福祉管理課
2 おおたユニバーサル駅伝 大会の開催	実施	実施継続	実施	不実施(※1)	不実施(※1)	実施	実施	○		福祉管理課
3 日本語ボランティア養成 講座修了者数 (①令和元年度～令和5 年度の累積)	—	①累積150人	64人 (①累積64人)	11人 (①累積75人)	16人 (①累積91人)	38人 (①累積129人)	38人 (①累計167人)	○		国際都市・多文化 共生推進課
4 認知症サポーター養成 講座受講者数 (①令和元年度～令和5 年度の累積) [②実績累計※2]	— [延べ25,141人(※ 3)]	①累積10,000人 [②延べ37,000人(※ 4)]	2,899人 (①累積2,899人) [②延31,002人]	873人 (①累積3,772人) [②延31,875人]	1,394人 (①累積5,166人) [②延33,269人]	1,344人 (①累積6,510人) [②延34,613人]	2,190人 (①累積8,700人) [②延36,803人]	×	コロナの影響で会場開催ができなかったことや外出抑制があげられる。代替策としてオンライン開催も行ったが、指標目標値の受講者数まで至らなかった。今後は会場開催とオンライン開催を行いつつ、受講者数増加に向けて啓発を行っていく。	高齢福祉課
5 小中学校での「総合的な 学習の時間(身体障がい・知的障がい理解教育)」等への支援の実施 回数	39回	45回	44回 内訳 小学校 40 中学校 4	2回 内訳 小学校2 中学校2	10回 内訳 小学校 10校 中学校 0校	30回 内訳 小学校 27校 中学校 3校	47回 内訳 小学校 36校 中学校 11校	○		福祉管理課
6 障がい者就労定着支援 登録者数	721人	850人	878人	919人	931人	947人	945人	○		障がい者総合サ ポートセンター
7 タブレット通訳(外国語) の利用件数	651件	1,000件	718件	881件	1,058件	1,264件	1,457件	○		国際都市・多文化 共生課
8 手話通訳・要約筆記の派 遣件数	手話 2,834件 要約筆記 68件	手話 3,400件 要約筆記 継続・拡大	手話 2,430件 要約筆記 74件	手話 2,237件 要約筆記 34件	手話 2,461件 要約筆記 67件	手話 2,388件 要約筆記 94件	手話 2,408件 要約筆記 79件	×	ICT化による手話・要約筆記以外のコミュニケーション手段の普及や「合理的配慮」という考え方の理解が広まってきたことから、伸び率は鈍化傾向にある。多様なコミュニケーション手段の中から自分に合った手段を選べる時代の中でも、言語である手話の重要性の理解を進めていきたい。	障がい者総合サ ポートセンター

※1 新型コロナウイルス感染症拡大抑止のため、不実施。
 ※2 平成19年度からの実績累計
 ※3 平成19～29年度までの11年間の実績。警察での受講者数4,500人を含む。
 ※4 平成30年度の見込み数(概ね2,000人)を含む。

●まちづくりの考え方 2

「まち・くらし」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方2の指標を以下のとおり設け、ハード面の整備による、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

項目	平成29年度 ※アクションプラン 策定年度	指標目標(令和5年度) ※アクションプラン 掲載目標	実績					評価		所管課
			令和元年度実績 (参考)	令和2年度実績 (参考)	令和3年度実績 (参考)	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績	指標目標達成	指標目標を達成しなかった場合、 理由と今後の対策	
1 公園のバリアフリー整備数(※1)	—	令和元年度から令和5年度の累積10か所	8か所 (仲六郷二丁目公園、あさひ海老取川公園、洗足池公園、ソラムナード羽田緑地、旧香川緑地、昭和島二丁目公園、多摩川台公園、平和島公園)	3か所 (平和島公園、大森南第一公園、北前堀緑地)	5か所 (平和島公園、森ヶ崎緑華園、西六郷公園、蒲田本町一丁目公園、六間堀仲羽公園) (累積16か所)	4か所 (平和島公園、田園調布せせらぎ公園、本羽田第三公園、京浜蒲田公園) (累積20か所)	4か所 (平和島公園、田園調布せせらぎ公園、六間堀緑地、道塚南公園)	○		都市基盤管理課
2 放置自転車台数(※2)	1,103台	1,000台	1,017台	872台	534台	269台	407台	○		都市基盤管理課
3 自転車走行環境整備の距離(自転車レーン、自転車専用通行帯等) (①令和元年度～令和5年度の累積) [②実績累計(※3)]	— [累計24km(※4)]	令和元年度から令和5年度の累計94km [累計132km(※5)]	24.3km (①累計24.3km) [②累計64.2km]	31.6km (①累計55.9km) [②累計95.8km]	29.8km (①累計85.7km) [②累計125.6km]	31.2km (①累計116.9km) [累計156.8km]	12.7km (①累計129.6km) [累計169.5km]	○		都市基盤管理課

※1 ここでの公園とは、1ヘクタール(10,000㎡)を超えるような大規模公園や、概ね1,000㎡以上の中規模公園を指す。

※2 毎年10月の晴天の平日の概ね午前11時頃調査を実施し、放置禁止区域・放置禁止区域に準じた区域において把握した放置自転車台数。

※3 平成28(2016)年度からの実績累計。

※4 平成28～29年度の2年間の実績。

※5 平成30(2018)年度の見込み数(14,000m)を含む。

●まちづくりの考え方 3

「しくみ」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方3の指標を以下のとおり設け、より多くの区民が参画、事業者と協働できるよう、継続的な取り組みができる体制の構築を進めます。

項目	平成29年度 ※アクションプラン 策定年度	指標目標(令和5年度) ※アクションプラン 掲載目標	実績					評価		所管課
			令和元年度実績 (参考)	令和2年度実績 (参考)	令和3年度実績 (参考)	令和4年度実績	令和5年度実績	指標目標達成	指標目標を達成しなかった場合、 理由と今後の対策	
1 UD合同点検におけるUDパートナーの参加率(※1)	76.80%	100%	93.10%	95.80%	99.31%	98.80%	100.00%	○		福祉管理課
2 ユニバーサルデザインや障がい理解等に関する職員研修の理解度(※2)	83.60%	100%	76.90%	80.00%	74.50%	72.50%	81.85%	×	講義の時間配分や、内容等に関する指摘、意見等があったため、講師と調整しよりわかりやすい講義となるよう工夫する。	人事課 福祉管理課

※1 参加率の算出には、事前に欠席の意思表示をした人を除く。

※2 理解度とは、研修のアンケート「研修内容を理解できたか」の設問に対し、4段階評価で4(理解できた)を選択した職員の割合